様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

平成２９年　６月１３日

愛 知 県 知 事　殿

提出者
住 所　名古屋市中川区清船町２　－１
氏 名　大有建設株式会社　　管路部
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０５２－３６３－５７１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	大有建設株式会社　管路部　名古屋事務所
事業場の所在 地	名古屋市中川区清船町２－１
計画期　間	Ｈ２９年　４月　１日　～　平成３０年　３月３１日

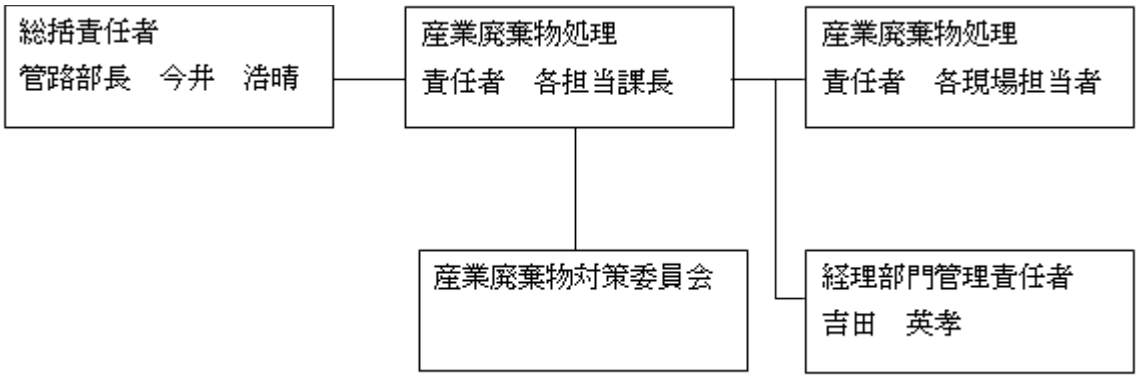
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種 類	Ｄ０６：総合工事業
②事業の規 模	元請完成工事高：１，１５２，８１４千円
③従業員 数	３６名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 がれき類：再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 建設汚泥：再生処理業者に委託して再資源化

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　２８　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥
排出　量	7,953.9 ｔ	88.70 ｔ

（これまでに実施した取組）

発注者と調整を行い、削減に取り組む

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥
排出　量	7,500 ｔ	100.0 ｔ

（今後実施する予定の取組）

発注者と調整を行い、削減に取り組む

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

それぞれに分別している

	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も分別処理を徹底する

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　２８　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）

再生利用率　１００％</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）

現状維持</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　２８　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）

特に実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
</table>

		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） 現状維持		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（　　２８　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（これまでに実施した取組） 実施していない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（　　２８　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥
		全処理委託量	7,953.9 t	88.70 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	7,953.9 t	88.70 t

			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（これまでに実施した取組） 再生利用業者への処理委託			

（第５面）

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		がれき類	建設汚泥
		全処理委託 量		7,500 t	100.0 t
			優良認定処理業者への処理委託 量	t	t
			再生利用業者への処理委託 量	7,500 t	100.0 t
			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 現状維持			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。